

岳北消防本部の沿革

年 月 日	記 事
昭和46年(1971年) 6月 1日	消防本部及び消防署を置かなければならない市町村を定める政令第 170 号によって飯山市が常備化を義務付けられる。これを機に岳北広域圏事業の一環として始動する。
昭和47年(1972年) 5月 12月 6日 12月22日	飯山市企画課を中心として一部事務組合の設立へ準備体制進む。 岳北広域消防事務組合の設立許可(北信事務所指令 47 北県第 477 号) 第一回組合議会開催
昭和48年(1973年) 4月 1日 4月 5日 6月12日 8月 1日 9月 1日 10月 1日 10月20日 11月 7日 12月20日 12月21日 昭和49年(1974年) 3月 1日 3月 7日	飯山市役所内に事務局開設 職員定数 43 人 飯山市から派遣職員 2 名、木島平村から派遣職員 1 名、野沢温泉村から派遣職員 3 名 職員採用 10 名 組織 3 市村からの派遣職員を含めて 16 名任命 消防本部及び消防署を置かなければならない市町村を定める自治省告示第 74 号によって、木島平村及び野沢温泉村も常備消防化が義務付けられる。 消防本部(飯山消防署)及び野沢分署庁舎建設工事着工 職員採用 9 人 飯山消防署 指令車(三菱ジープ)、査察車(トヨタコロナバン)購入 職員採用 12 人 職員 37 人 岳北消防本部及び飯山消防署業務開始 職員 37 人(1 本部 1 署 3 係兼務 1 分署) 超短波無線装置 基地局 10W(飯山消防署、野沢分署各 1 局) 飯山消防署 救急自動車 1B型(日産セドリック)購入 飯山消防署 救急自動車 2B型(日産キャラバン) 日本自動車工業会から寄贈セドリック型救急車を野沢分署へ配備 飯山消防署 水槽付消防ポンプ自動車(日産)購入 一斉指令装置・通信機器完成 野沢分署 救急自動車 2B型(日産キャラバン) 社団法人日本損害保険協会から寄贈 セドリック型救急車を飯山消防署の救急 2 号車に配備
昭和49年(1974年) 4月 1日 5月 1日 6月 9日 8月10日 昭和50年(1975年) 2月 1日	職員採用 4 人、飯山市から派遣職員 1 人 職員 42 名 飯山消防署 28 人、野沢分署 14 人の体制となる。 職員 42 人 飯山消防署 査察車(日産サニー)更新 救急業務を行わなければならない市町村を指定する自治省告示第 131 号によって救急業務が正式に義務付けられる。 飯山消防署裏庭舗装工事、消雪パイプ埋設工事、貯水槽工事完成 岳北保健衛生施設組合と合併するため、岳北広域消防事務組合を解散し、新たに岳北広域行政組合設立許可

昭和51年(1976年) 11月11日	岳北地域防火管理協会設立
昭和52年(1977年) 3月31日	1名転出(飯山市へ)
昭和52年(1977年) 4月1日 8月30日	飯山市から派遣職員1名 野沢分署 消防ポンプ自動車(トヨタランドクルーザー)A2級購入
昭和53年(1978年) 3月31日	1名転出(野沢温泉村へ)
昭和53年(1978年) 4月1日 4月12日 5月2日 10月21日	野沢温泉村から派遣職員1名 救急自動車2B型(日産キャラバン)1台長野県共済農業協同組合連合会から寄贈 飯山消防署 査察車(スズキジムニー)更新 飯山消防署 消防ポンプ自動車(トヨタランドクルーザー)A1級社団法人日本損害保険協会から寄贈「火災保険号岳北」と命名
昭和54年(1979年) 3月31日	1名転出(木島平村へ)
昭和54年(1979年) 4月1日 5月30日 11月1日	木島平村から派遣職員1名 野沢分署 査察車(スズキジムニー)購入 飯山消防署通信室移転
昭和55年(1980年) 3月31日	救急業務実施基準に定める135時間講習終了、認定証30人授与 2名転出(飯山市、野沢温泉村へ)
昭和55年(1980年) 4月1日	飯山市、野沢温泉村から派遣職員2名
昭和56年(1981年) 3月31日	2名転出(飯山市、木島平村へ)
昭和56年(1981年) 4月1日 6月22日 12月2日	飯山市、木島平村から派遣職員2名 野沢分署 連絡車(日産ブルーバード)購入 飯山消防署 救急自動車2B型(日産キャラバン)社団法人日本損害保険協会から寄贈、装備付属品の着完了
昭和57年(1982年) 2月8日 3月30日	飯山消防署 消防ポンプ自動車A2級CD-II型(いすゞK-SCS330フォワードFX-II)購入 耐熱防火服(AT-3)3着購入

昭和57年(1982年)	<p>4月30日 1名転出(野沢温泉村へ)</p> <p>5月1日 野沢温泉村から派遣職員1名</p> <p>8月24日 飯山消防署無線の空中線を「半波ダイポール積み重ね型」に変更、通信可能範囲を拡大する。</p> <p>9月12日 台風18号により樽川堤防が決壊し木島地区に水害発生</p> <p>10月29日 野沢分署 救急自動車2B型(日産キャラバン)更新</p> <p>11月24日 飯山消防署 化学消防ポンプ自動車A2級(日機式化学I型、いすゞK-SDR320 フォワードFX-III)購入</p> <p>12月1日 長野県防災行政無線稼働</p>
昭和58年(1983年)	<p>3月31日 1名転出(飯山市へ)</p>
昭和58年(1983年)	<p>4月1日 飯山市から派遣職員1名</p> <p>5月24日 飯山消防署 連絡車(トヨタカリーナ)購入</p> <p>9月29日 台風10号により千曲川堤防が決壊し常盤地区、瑞穂地区に水害発生</p> <p>12月7日 防火広報車(トヨタハイエース)日本防火協会から寄贈</p>
昭和59年(1984年)	<p>1月30日 飯山消防署庁内非常照明設備設置</p>
昭和59年(1984年)	<p>4月1日 長野県救急医療情報システム稼働</p> <p>11月5日 救命ボート(ヤマハUW14A)1艇購入</p>
昭和60年(1985年)	<p>3月31日 救命ボート用船外機(ヤマハ9.9DL)購入 消防職員年齢構成適正化事業3名転出(飯山市、木島平村、野沢温泉村へ)</p>
昭和60年(1985年)	<p>4月1日 2名採用(消防職員年齢構成適正化事業) 野沢温泉村から派遣職員1名</p> <p>5月28日 岳北消防本部救助隊発足(10名)</p>
昭和61年(1986年)	<p>2月20日 野沢分署 消防ポンプ自動車A2級・BD-1型(日産サファリ)購入</p> <p>2月24日 飯山消防署 救急自動車2B型(いすゞ)更新</p> <p>3月31日 消防職員年齢構成適正化事業により1名転出(木島平村へ)</p>
昭和61年(1986年)	<p>4月1日 1名採用(消防職員年齢構成適正化事業)</p> <p>7月15日 飯山消防署車庫改修(オーバースライダー)</p> <p>7月24日 飯山消防署 指令車(三菱パジェロ)更新</p> <p>10月1日 救助隊1名増員(11名)</p>
昭和62年(1987年)	<p>3月31日 消防職員年齢構成適正化事業により1名転出(野沢温泉村へ)</p>
昭和62年(1987年)	<p>4月1日 野沢温泉村から派遣職員1名</p> <p>4月20日 救助隊3名増員(14名)</p> <p>6月12日 飯山消防署 査察車(ダイハツハイゼット)更新</p> <p>9月26日 軽トラック(スズキキャリイ)滝沢組より寄贈</p>
昭和63年(1988年)	<p>3月30日 訓練塔工事第1期完成(本体)</p> <p>3月31日 消防職員年齢構成適正化事業により2名転出(飯山市、木島平村へ)</p>

昭和63年(1988年)	<p>4月 1日 2名採用(消防職員年齢構成適正化事業)</p> <p>4月28日 重量物排除器具(マキシーホース)購入</p> <p>10月 4日 野沢分署、消防無線基地、空中線「半波ダイポール積み重ね型」に変更</p> <p>10月21日 野沢分署 救急自動車2B型(トヨタ)更新</p> <p>12月 7日 訓練塔工事第2期完成(鉄骨造5階建 H=18.15m)</p>
平成元年(1989年)	<p>2月28日 総合気象観測装置導入第1期事業</p> <p>3月31日 消防職員年齢構成適正化事業により1名転出(飯山市へ)</p>
平成元年(1989年)	<p>4月 1日 3名採用(消防職員年齢構成適正化事業)</p> <p>飯山市から派遣職員1名</p> <p>6月 2日 野沢分署 査察車(スズキエブリイターボ)更新</p> <p>7月28日 総合気象観測装置導入第2期事業</p> <p>7月29日 日本消防協会から緊急用伝達機材寄贈(携帯無線10台、拡声器2台)</p> <p>9月30日 消防職員年齢構成適正化事業により3名転出(飯山市、木島平村、野沢温泉村へ)</p>
平成2年(1990年)	<p>3月23日 飯山消防署 救急自動車2B型(トヨタ)長野県共済農業共同組合連合会から寄贈</p>
平成2年(1990年)	<p>4月 1日 2名採用(消防職員年齢構成適正化事業)</p> <p>6月20日 飯水危険物安全協会と中高危険物安全協会を解散し、新たに北信危険物安全協会を設立</p> <p>6月30日 通信統制及び緊急情報システム導入第1期事業(通信室改良工事)</p> <p>8月15日 総合気象観測装置導入第3期事業</p> <p>9月30日 消防職員年齢構成適正化事業により2名転出(飯山市へ)</p> <p>10月 1日 野沢温泉村119番を消防本部へ統合</p>
平成3年(1991年)	<p>2月 1日 消防用無線機アンテナ・パンザマスト設置</p>
平成3年(1991年)	<p>4月 1日 3名採用(消防職員年齢適正化事業)</p> <p>9月30日 消防職員年齢構成適正化事業により2名転出(野沢温泉村へ)</p> <p>12月18日 飯山消防署 消防ポンプ自動車CD-I型(三菱キャンター)更新</p> <p>飯山消防署 救急自動車2B型(トヨタ、県下初の防振ストレッチャー装備)斑尾高原開発㈱から寄贈</p> <p>12月24日 通信統制及び緊急通信指令施設導入第2期事業(指令台)</p>
平成4年(1992年)	<p>3月24日 通信統制及び緊急通信指令施設導入第2期事業(無線機)</p> <p>3月31日 空気充填設備第1期事業(充填室建設)</p> <p>1名転出(飯山市へ)</p>

平成 4年(1992年)	職員定数 45 人に改正 3 名採用(消防職員年齢適正化事業) 飯山市から派遣職員 1 名
4月 1日	
4月18日	飯山消防署 連絡車(スバルレガシイ)更新
5月 6日	長野県消防学校へ 1 名短期派遣(11 月 6 日まで)
9月30日	1 名飯山市へ派遣、野沢温泉村へ 1 名転出(消防職員年齢適正化事業)
平成 5年(1993年)	
3月20日	通信統制及び緊急通信指令施設導入第 3 期事業(無線統制台) 空気充填設備第 2 期事業(空気充填設備)
3月31日	1 名転出(木島平村へ)
平成 5年(1993年)	職員定数 48 人 3 名採用(増員)、救助隊 1 名増員(15 名)
4月 1日	
5月11日	初めての救急救命士誕生 県下 5 番目
6月15日	野沢分署 連絡車(トヨタスプリンターカリブ)更新
12月 1日	救助隊 3 名増員(18 名)
平成 6年(1994年)	
3月28日	野沢分署 救急自動車 2B 型(日産キャラバン)長野県共済農業協同組合連合会から寄贈
平成 6年(1994年)	3 名採用(消防職員年齢適正化事業)
4月 1日	
10月 4日	飯山消防署 救助工作車(三菱ふそうファイター)社団法人日本損害保険協会から寄贈
平成 7年(1995年)	
3月31日	1 名転出(飯山市へ)、1 名退職
平成 7年(1995年)	飯山市から派遣職員 1 名
4月 1日	
平成 8年(1996年)	
3月11日	飯山消防署 高規格救急自動車(いすゞスーパーメディック) 平成 7 年度(1995 年度)消防防災整備費補助事業にて購入
3月13日	野沢分署 小型動力ポンプ付積載車(日産アトラス)購入
平成 8年(1996年)	1 名採用(消防職員年齢適正化事業)
4月 1日	
5月 1日	高規格救急自動車運用開始
6月14日	飯山消防署 査察車(スズキエブリイ)更新
9月25日	岳北地域防火管理協会 20 周年記念事業を開催
12月 6日	蒲原沢土石流災害発生 県消防相互応援隊 24 名出動
平成 9年(1997年)	2 名採用(消防職員年齢適正化事業) 栄村消防常備化準備室開設
4月 1日	
9月30日	消防職員年齢構成適正化事業により飯山市へ 2 名派遣
平成10年(1998年)	
3月31日	救急自動車 2B 型(日産キャラバン)長野県共済農業協同組合連合会から寄贈 1 名転出(野沢温泉村へ)

平成10年(1998年)	<p>4月 1日 職員定数 58 人 定数増員(栄分遣所開所による増員) 9 名採用 野沢温泉村、栄村から派遣職員 2 名</p> <p>4月20日 長野県消防学校へ 1 名短期派遣(5 月 21 日まで)</p> <p>7月29日 栄分遣所 査察車(ホンダストリート)購入</p> <p>9月30日 栄分遣所 消防ポンプ自動車CD-I 型(いすゞエルフ)購入</p> <p>11月 1日 栄分遣所開所 栄分遣所 救急自動車 2B 型を配備 平成 10 年(1998 年)3 月 31 日に長野県共済農業協同組合連合会から寄贈</p>
平成11年(1999年)	<p>3月 4日 飯山消防署 化学車 I 型(日野レンジャー)更新 平成 10 年度(1998 年度)市町村消防設備整備費補助事業にて購入</p>
平成11年(1999年)	<p>4月 1日 職員定数 61 人 3 名採用</p> <p>7月30日 飯山消防署 指令車(ホンダCR-V)更新</p>
平成12年(2000年)	<p>1月31日 1 名退職</p> <p>3月22日 野沢分署 救急自動車 2B 型(日産キャラバン)長野県共済農業協同組合連合会から寄贈</p> <p>3月31日 2 名転出(飯山市へ 1 名、野沢温泉村へ 1 名)</p>
平成12年(2000年)	<p>4月 1日 職員定数 63 人 4 名採用</p> <p>8月22日 救助用組立式ボート(NKM-1)1 艇購入、ボート用船外機(ヤマハ 25NMH)購入</p> <p>10月 1日 通信指令業務の専任化</p> <p>11月27日 野沢分署 消防ポンプ自動車CD-I 型(日野デュトロ)更新</p>
平成13年(2001年)	<p>3月26日 野沢分署 高規格救急自動車(トヨタハイメディック) 平成 12 年度(2000 年度)市町村消防設備整備費補助事業にて購入</p> <p>3月31日 1 名退職</p>
平成13年(2001年)	<p>4月 1日 職員定数 65 人 3 名採用</p> <p>4月13日 飯山消防署 本部車(日産セレナ)購入</p> <p>5月 9日 長野県消防学校へ 1 名短期派遣(6 月 13 日まで)</p> <p>9月27日 野沢分署 2 階改修工事完了</p> <p>11月10日 岳北地域防火管理協会 25 周年記念事業を開催</p>
平成14年(2002年)	<p>4月 1日 2 名採用 栄分遣所を栄分署に改称</p> <p>5月 1日 飯山消防署 連絡車(トヨタガイヤ)更新</p> <p>9月30日 野沢分署 1 階改修工事完了</p>
平成15年(2003年)	<p>3月28日 飯山消防署 高規格救急車(トヨタハイメディック)更新 平成 14 年度(2002 年度)市町村消防設備整備費補助事業にて購入 飯山消防署訓練場及び駐車場整備</p>

平成15年(2003年) 4月 1日	1名採用 職員交流研修により飯山市へ1名派遣(1年間)
6月28日	飯山消防署 軽トラック(スズキキャリイ)更新
平成16年(2004年) 2月27日	栄分署竣工(栄村役場庁舎と合築)
平成16年(2004年) 4月 1日	組織改革により、消防本部に課制を導入 栄分署新庁舎業務開始
4月12日	長野県消防学校へ1名短期派遣(10月8日まで)
7月18日	福井豪雨災害発生 緊急消防援助隊6名出動
10月23日	新潟県中越地震発生 緊急消防援助隊10名出動
平成17年(2005年) 2月10日	飯山消防署 災害対応特殊水槽付ポンプ自動車水ーIB型(日野レンジャー)更新 平成16年度(2004年度)消防防災設備整備費補助事業にて購入
平成17年(2005年) 4月 1日	職員定数66人 1名採用 長野県消防学校へ1名長期派遣(2年間派遣1年目)
11月 7日	長野県防災行政無線衛星系設備導入
11月16日	携帯119番通報直接受信システム導入
12月20日	飯山消防署 災害対応特殊ポンプ自動車CDーI型(日野デュトロ)更新 平成17年度(2005年度)消防防災設備整備費補助事業にて購入
平成18年(2006年) 1月	豪雪に伴う管内支援 11日間 延べ48名出動
平成18年(2006年) 4月 1日	長野県消防学校へ1名長期継続派遣(2年目)
5月 8日	長野県消防学校へ1名短期派遣(6月9日まで)
7月11日	飯山消防署 査察車(スズキエブリイ)更新 栄分署 連絡車(スズキエブリイ)更新
平成19年(2007年) 3月31日	1名退職、1名転出(栄村へ)
平成19年(2007年) 4月 1日	2名採用
6月 9日	野沢分署 連絡車(スズキエブリイ)更新
8月 1日	飯山消防署 資機材搬送車(トヨタハイエースバン)更新
11月27日	通信指令台更新
平成20年(2008年) 4月 1日	消防広域化研究協議会事務局へ1名派遣
9月30日	飯山消防署 災害対応特殊救急自動車(トヨタハイメディック)更新 平成20年度(2008年度)緊急消防援助隊設備整備費補助事業にて購入
10月 1日	栄分署 高規格救急車配置(旧飯山消防署高規格救急車)
平成21年(2009年) 3月13日	野沢分署 積載車(日産アトラス)更新
3月31日	2名退職

平成21年(2009年) 4月 1日	職員定数 67 人 3 名採用 長野県消防学校へ 1 名短期派遣(10 月 6 日まで)
10月15日	1 名退職
11月 2日	飯山消防署 本部車(日産セレナ)更新
11月12日	栄分署 連絡車(スバルサンバートラック)更新
平成22年(2010年) 3月31日	3 名退職
平成22年(2010年) 4月 1日	3 名採用
平成23年(2011年) 3月11日	東北地方太平洋沖地震発生 緊急消防援助隊 14 名出動
3月12日	長野県北部地震発生(栄村震度 6 強) 飯山消防署及び野沢分署職員の応援により栄分署の態勢強化を図る 延べ日数 19 日 応援人数 82 名
3月31日	2 名退職
平成23年(2011年) 4月 1日	2 名採用
9月13日	野沢分署 高規格救急自動車(トヨタハイメディック) 長野県共済農業協同組合連合会から寄贈
平成24年(2012年) 3月31日	2 名退職
平成24年(2012年) 4月 1日	職員定数 68 人 4 名採用 長野県消防学校へ 1 名短期派遣(10 月 10 日まで)
6月11日	野沢分署新庁舎建設工事着工
12月10日	野沢分署新庁舎竣工・竣工式
12月12日	野沢分署新庁舎業務開始
平成25年(2013年) 3月29日	野沢分署旧庁舎解体工事完了
3月31日	1 名退職
平成25年(2013年) 4月 1日	職員定数 70 人 3 名採用 長野県消防防災航空センターへ 1 名派遣(3 年間派遣)
8月 9日	岳北消防本部・飯山消防署新庁舎建設工事着工
8月12日	飯山消防署 連絡車(日産セレナ)更新
8月27日	消防救急デジタル無線新野沢中継局建設工事着工
8月30日	飯山消防署 資機材搬送トラック(三菱キャンター) 公益財団法人長野県市町村振興協会消防本部活動支援事業にて購入
9月 2日	消防救急デジタル無線貝立山中継局建設工事着工
9月 3日	ゴム製救助艇(アキレス S E 400) 1 艇購入
平成26年(2014年) 3月31日	消防救急デジタル無線新野沢中継局竣工 3 名退職

平成26年(2014年)	<p>4月 1日 3名採用</p> <p>8月31日 消防救急デジタル無線員立山中継局竣工</p> <p>9月 1日 岳北消防本部・飯山消防署新庁舎、主・副訓練塔竣工</p> <p>9月 4日 岳北消防本部・飯山消防署旧庁舎閉署式 新庁舎業務開始</p> <p>9月12日 岳北消防本部・飯山消防署新庁舎開署式</p> <p>9月26日 岳北消防本部・飯山消防署新庁舎竣工式</p> <p>9月27日 御嶽山噴火災害発生 県消防相互応援隊 26名出動</p>
平成27年(2015年)	<p>3月31日 6名退職</p>
平成27年(2015年)	<p>4月 1日 職員定数 67人 3名採用</p> <p>6月24日 飯山消防署 軽トラック(スズキキャリイ)更新</p>
平成28年(2016年)	<p>2月17日 空気式救助マット(ライフキューブL型)一式購入</p> <p>3月 9日 NBC災害対応資機材(除染シャワーテント)一式購入</p> <p>3月31日 2名退職</p>
平成28年(2016年)	<p>4月 1日 職員定数 68人 2名採用 1名再任用</p> <p>5月 1日 長野県消防学校へ1名短期派遣(6月15日まで)</p> <p>10月20日 飯山消防署 災害対応特殊救急自動車(トヨタハイメディック)更新 平成28年度(2016年度)緊急消防援助隊設備整備費補助事業にて購入</p> <p>12月 7日 飯山消防署 救助工作車II型(日野レンジャー)更新</p>
平成29年(2017年)	<p>4月 1日 1名再任用 長野県危機管理部消防課へ1名派遣(2年間派遣)</p> <p>12月19日 野沢分署 消防ポンプ自動車CD-I型(日野デュトロ)更新</p>
平成30年(2018年)	<p>2月19日 栄分署 高規格救急自動車(トヨタハイメディック)更新</p> <p>3月15日 通信指令台更新</p>
平成30年(2018年)	<p>4月 1日 1名再任用 長野県消防学校へ短期派遣(10月9日まで)</p> <p>12月19日 栄分署 消防ポンプ自動車CD-I型(日野デュトロ)更新 平成30年度(2018年度)緊急消防援助隊設備整備費補助事業にて購入</p>
平成31年(2019年)	<p>1月31日 飯山消防署 指令車(トヨタハイエースバン)更新</p>
平成31年(2019年)	<p>4月 1日 職員定数 69人 2名採用 長野県消防学校へ1名長期派遣(2年間派遣1年目)</p>
令和元年(2019年)	<p>9月12日 飯山消防署 査察車(スズキエブリイ)更新</p> <p>10月13日 台風19号により飯山市街地で浸水被害が発生、住宅に取り残された多数の住民を救助艇等により救出 出動人員35名</p>
令和2年(2020年)	<p>1月31日 緊急消防援助隊用車庫及び資機材倉庫建設に伴う造成舗装工事</p> <p>3月 2日 飯山消防署 化学車II型(日野レンジャー)更新 平成31年度(2019年度)緊急消防援助隊設備整備費補助事業にて購入</p>

令和 2年(2020年)	4月 1日 長野県消防学校へ1名長期継続派遣(2年目) 9月24日 ボート用船外機(トーハツ MF S25C)購入 12月15日 心肺停止前特定行為高度訓練人形(LMJ レサシアンシミュレーターPLUS)購入
令和 3年(2021年)	1月15日 緊急消防援助隊用車庫及び資機材倉庫竣工 1月29日 岳北消防本部庁舎前にヘリコプター場外離着陸場を整備、運用開始 3月31日 1名退職
令和 3年(2021年)	4月 1日 2名採用 長野県消防防災航空センターへ1名派遣(3年間派遣) 無人航空機ドローン(DJI MAVIC2)購入、運用開始 7月 1日 Net119 緊急通報システム運用開始 7月 3日 静岡県熱海市土石流災害発生 緊急消防援助隊15名出動
令和 4年(2022年)	3月 4日 飯山消防署 高規格救急自動車(トヨタハイメディック)更新
令和 4年(2022年)	4月 1日 2名採用 長野県消防学校へ1名短期派遣(9月22日まで) 長野県消防防災航空センターへ1名継続派遣(2年目) 11月22日 野沢分署 連絡車(スズキエブリイ)更新
令和 5年(2023年)	3月22日 ゴム製救助艇(アキレスFRB-380)1艇購入
令和 5年(2023年)	4月 1日 長野県消防防災航空センターへ1名継続派遣(3年目) 12月 9日 栄分署 連絡車(マツダスクラム)更新
令和 6年(2024年)	1月 1日 石川県能登半島地震発生 緊急消防援助隊20名出動 3月31日 1名退職
令和 6年(2024年)	4月 1日 職員定数83人 2名採用 8月 8日 岳北消防本部50周年記念式典を開催 10月23日 野沢分署 高規格救急自動車(トヨタハイメディック)更新 12月 4日 水難救助資機材搬送用トレーラー及びヒッチメンバー一式購入
令和 7年(2025年)	3月31日 2名退職